7月 社会を明るくする運動街頭強調月間
犯罪や有害ドラッグ防止呼びかけ

7月の「社会を明るくする運動」強調月間ならびに有害薬物防止普及運動の街頭キャンペーンが町内４地区の港で実施されました。

これは、犯罪･非行の防止と有害ドラッグ防止「ダメ･ゼッタイ」普及や、立ち直りに努めている人に温かい言葉や優しい態度を向けてくださいという思いがこめられています。

8/8 第６回上島町子どもサミット
愛であふれる上島町を目指して

8月8日（火）、弓削地域交流センターにおいて、「第6回上島町児童・生徒会議（上島町子どもサミット）」が開催され、町内各小中学校、弓削高等学校の児童会や生徒会に所属する児童・生徒が出席しました。

出席者は「上島町いじめ撲滅アピール宣言」（8ページ参照。以下、「宣言」）を唱和後、各校のいじめ防止の取組について情報交換を行いました。続いて、事前に行った「あなたは宣言を実行していますか」、「学校全体で実行できていますか」 等のアンケート結果を基に、「宣言を徹底するために児童会・生徒会が主体となって実施する行動やアピール等はないか」をテーマに、高校生をリーダーとして小中高合同のグループ協議を行いました。児童・生徒からは「学年を越えた交流を自分の学校でも取り入れたい」といった意見や「注意しやすい雰囲気とは具体的にどういうことなのか?」といった質問が飛び交い、高校生を中心に「自分たちができることは何か」を話し合いました。

7/23 TOYO歴史文化資源ガイド養成講座
東予地域の高校生が塩づくり学ぶ

7月23日（日）、「TOYO歴史文化資源ガイド養成講座」を受講する東予地域の高校生約30名が、特定非営利活動法人弓削の荘（以下「弓削の荘」）を訪れました。これは、東予地域の産業遺産や、歴史文化および伝統産業等の地域資源を学び、当地域からの情報発信や観光ガイドを担う若い人材を育成することを目的に、東予歴史文化資源活用市町連携協議会が実施するものです。

訪れた受講生は、上島町教育委員会の有馬学芸員から東寺百合文書に記載された資料や佐島宮ノ浦（みやんな）遺跡から出土した土器を基に上島町における製塩の歴史を、弓削の荘の村上知貴代表理事から藻塩づくりの方法を教わり、熱心にメモをとっていました。

弓削の荘で製塩された藻塩を舐めた受講生は「甘味があって美味しい」と笑顔を浮かべていました。

7/30 第39回弓削招待サッカー大会
夏空の下、熱い戦い通じて交流

7月30日（日）、立石多目的グラウンドにおいて、弓削サッカースポーツ少年団による「第39回弓削招待サッカー大会」が開催され、招待された県内外5チームによるU−12･U−8の試合が行われました。開会式では、かみりんも駆けつけ選手を応援。真夏日での試合でしたが、負傷者も出ることなく無事全日程を終了しました。

弓削サッカースポーツ少年団は、明るく豊かで潤いのある青少年の健全育成と地域の活性化を目指し、サッカーを通じたふれあい・語り合いの中から、友情の輪を広げることを願い活動しています。

7/15 海岸清掃活動「リフレッシュ瀬戸内」
美しい海の姿を未来へ残そう

７月１５日（土）、夏空のもと海水浴シーズン前にボランティアによる岩城島海岸全域の海岸清掃「リフレッシュ瀬戸内」を実施しました。小・中学生をはじめ、保護者、地元企業、役場職員など、約１５０名の方々の参加をいただき、海岸に漂着したビン・カン・ペットボトル・発泡スチロール・流木等約１ｔのごみを回収することが出来ました。

この「リフレッシュ瀬戸内」は、瀬戸内･海の路ネットワーク推進協議会の事業の一環として海岸の清掃活動を通じて、“美しい海を守っていく“ことを参加者はじめ多くの人々に訴えていくことを目的に取り組んでいる活動です。私たちの手ですばらしい上島の海の姿を未来に残しましょう。

7/20 平成29年度海光園夏祭り
夏の日暮れの楽しいひと時

好天に恵まれた7月20日（木）夕方から、上島町特別養護老人ホーム海光園の芝生広場において、「平成29年度海光園夏祭り」を開催しました。この夏祭りは、海光園利用者とご家族の皆さまに、楽しみながら相互の交流を深めてもらおうと企画したもので、200名を超える参加がありました。今年は、生名地区の婦人会、民生児童委員協議会、青年会、弓削地区のボランティアグループや太鼓グループなど、多くの地域の方々のご協力のおかげで、例年よりも盛大な夏祭りとなりました。

日が暮れて海風が心地良く感じられる会場では、カラオケ、スイカ割り、盆踊り、花火などの催しが行われ、参加者は笑顔で楽しいひと時を過ごしていました。

海光園では、福祉や介護に対する関心や理解を高めてもらえるよう、今後も各種行事等に積極的に取り組み、地域貢献できる福祉施設を目指していきますので、地域の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

7/3 弓削小学校で租税教室
「税」の意義や役割正しく学ぶ

7月3日（月）、弓削小学校において、租税教室が開催されました。

これは、税金の大切さを勉強することを目的に実施するもので、町税務課の職員が講師を務め、小学校6年生を対象に行われました。

当日は、税金に関するクイズやDVD鑑賞等を行い、授業を受けた児童は、税金を納付することの重要性を学びました。

7/13 かみじま地域研究会キッズ
私たちの住む町を知ろう

7月13日（木）、弓削小学校において弓削小6年生と生名小5・6年生の合同授業が行われました。

これは、町内の小学6年生（生名小は5・6年生）が共同で行う「かみじま地域研究会キッズ（通称：かみ研キッズ）」の授業で、児童が自分の言葉で思いや考えを伝える姿勢・技術を学び、地域の魅力・課題を知ることで愛着や誇りを養い、また、同世代間の横のつながりをつくることで、将来的に町の未来を担っていこうと積極的に考える人材の育成を目指すものです。

この日は「かみ研キッズ」初めての授業となり、現地コーディネーターの藤巻光加さんと、特定非営利活動法人離島経済新聞社の松本一希さんから説明を受けたあと、自分が何について研究していくのか、一人ずつテーマを決めました。今後は、地域に出ていろんな人のお話を聞き情報を集め、調べた結果をまとめ人に伝える学習をしていきます。

研究結果は、小・中学生向けの教材・オンライン辞典（ホームページ）や、大人が見ても子どもが見ても興味をひかれるパンフレットにまとめます。